

民間商業施設等の木質化に向けた取組

1 はじめに

人口減少の進行に伴って木材の主な需要先である住宅の着工戸数の減少が見込まれることから、将来的には木材利用の減少が懸念されています。

このことから、これまで木材利用が進んでこなかった民間商業施設等の木造化・内装木質化等を進め、木材利用の拡大につなげることを目的に勉強会を開催しましたので、その内容を報告します。

2 勉強会の開催

当地域には製材加工や建築設計等を生業とする事業所等で構成される「宮古・下閉伊モノづくりネットワーク林産部会」(以下、部会という)があり、民間商業施設等の木質化に向けた取組を行っています。昨年度は、商工会議所との意見交換や、部会員間の情報交換を開催しました。今年度は、昨年出された課題への対応として、①施設を木質化することで集客につながることを周知する、②木造施設耐久性の特性を伝える、の2つについて取組むこととし、12月12日(火)に宮古港フェリーターミナル(宮古市)で勉強会を開催しました。

第1部では、東京大学大学院 恒次 祐子教授を講師に、「建物の木造化、内装木質化によるメリット」について、第2部では、岩手県立大学短期大学部 内田 信平准教授を講師に「中大規模木造低層建築物の耐久性向上」について、それぞれ講演いただきました。

内装木質化により心身に良い効果がもたらされる報告があること、また、木造建築物の耐久性向上には水処理が重要であることを、改め

て確認する機会となりました。

3 今後の取組

当管内の山田町では「いわての木があふれる空間づくり事業補助金」を活用して、木造の民間商業施設を施工している事業者がいることから、部会の構成員や起業予定者に対して、実際に木質化された民間商業施設の見学会を開催したいと考えています。

この見学会を通じて、関係者や事業者の木質化に対する機運を高め、木材利用に向けた好循環が継続していく様、普及を図っていく予定です。



東京大学大学院 恒次 祐子教授



岩手県立大学短期大学部 内田 信平准教授